

総合人間科学系 全学教育センター

言語学（統語論）・ 応用言語学（第二言語習得・英語教育）

1年次の英語科目と学術リテラシーの授業を担当しています。英語科目の授業では、自身の研究分野の知識を活かし、日本語と英語が左右対称の文構造関係を持っており、これまで学習してきた英語をより身近なものに感じてもらうようにしています。専門分野に関しては、統語論においては、主格・属格交替の現象に注目し、日本語とその他のアジア諸国の言語を比較することで日本語がどこから来たのかを探っています。第二言語習得においては、人間が2つ目の言語を習得するときにも、母語を習得するときと同じように普遍文法が機能しているのかを調査しています。そして英語教育の分野では、短時間で英語能力を測定できるテストの開発を行っています。

言語教育部門

研究から広がる未来



長谷部 めぐみ 准教授
岐阜大学にて、学部卒業・修士課程修了した後、横浜国立大学にてPh.Dの学位を取得。2020年に全学教育機構に着任。現職に至る。

人間は、何語でも習得できる普遍文法を備えて生まれてきます。私たちは、日本語を使用する環境で成長したので、日本語を話しています。もし、英語を使用する環境に生まれていたのであれば、何の苦も無く英語を話していたわけです。そこで母国語である日本語の特徴を探りつつ、第二言語を習得するメカニズムを明らかにすることによって、日本の英語教育に対して貢献できると考えています。ある現象の表面的な部分だけでなく、その現象の深層部部分も理解することは、どの研究分野においても大切なことです。

卒業後の未来像

自分の持っている知識だけで判断するのではなく、あらゆる角度からものごとを考えて欲しいと考えています。大学生活の中で、同じ学部の友人だけではなく、他学部の学生や留学生、教員ともコミュニケーションをとり、自分とは違うものの考え方に触れ、広い視野で考えられる力を身につけ、自分の決めた道で活躍して欲しいと思っています。



アメリカのコーネル大学で開催された国際学会 The Ninth Workshop on Altaic Formal Linguistics に参加した時の写真

	日本語		英語
(1)	ジョンを	見た	John
		saw	
(2)	東京	に	Tokyo
		to	
(3)	食べ	始めた	to eat
		started	
(4)	メアリー	より	Mary
		than	
(5)	ジョンが見た	人	John saw
		the man	

日本語と英語の左右対称関係



フランスのエクス・アン・プロヴァンスにて Vivian Cook 氏が開催する Multi-Competence Meeting に参加した時の写真